

設備工事情報シート	衛 生	Ⅲ－P－2	制 定	2006年4月1日
			改 定	2015年3月1日
Ⅲ. 検査要領	ガス温水式床暖房の圧力検査		東京ガス編	

1. 目的・概要

ガス温水式床暖房は、ガス給湯器で温水をつくり、温水マットに循環させて暖房を行う。

温水マット内の配管は耐久性に優れる架橋ポリエチレン管を使用しているが、施工工程上、温水マットを敷設した後に床仕上げ工事を行うため、床仕上げ材によっては釘を使用することが有り、その釘が架橋ポリエチレン管を損傷して水漏れを起こしてしまう可能性がある。

そのような場合の水漏れを発見するために、一般的に行われているガス温水式床暖房の圧力検査の検査要領について紹介する。

2. 検査方法

(1) 一般事項

圧力検査は、配管施工時から機器取付まで適切な時期に、適切な方法により行う。

- ① 検査方法は、水圧試験と目視触感による検査とする。
- ② 計器等は、常に整備点検し機能に支障のないことを確認し使用する。

表-1

	配管施工中				機器接続後
	配管完了後	温水マット敷設後	床造作中	床張り後	
検査方法		ゲージ検査※1 目視触感検査※2	ゲージ確認※3	ゲージ確認	ゲージ検査 ＋ 目視触感検査

※1 ゲージ検査とは、水圧試験器で配管内のエア抜きを十分行い、所定の圧力で所定時間水圧を保持し、圧力計の変化により漏水の有無を確認する検査方法。

※2 目視触感検査とは、水圧をかけた状態で主として温水マット接続部を目視、手触りにより、漏水の有無を確認する検査方法。

※3 ゲージ確認とは、漏水検査のため配管設備に所定圧力で保時している圧力計の変化によって漏水の有無を見分ける検査方法。

(2) ゲージ検査圧力・検査時間

表-2

	検査工程	圧力及び時間		判定基準
温水マット	温水マット敷設後	検査圧力	水圧 0.20MPa	著しいゲージ圧力降下及び、目視手触りで著しい漏れが無いこと
		検査時間	床張り完了後まで継続する	
	機器接続後	検査圧力	水圧 0.20MPa	ゲージ圧力降下及び、目視手触りで漏れが無いこと
		検査時間	30分	

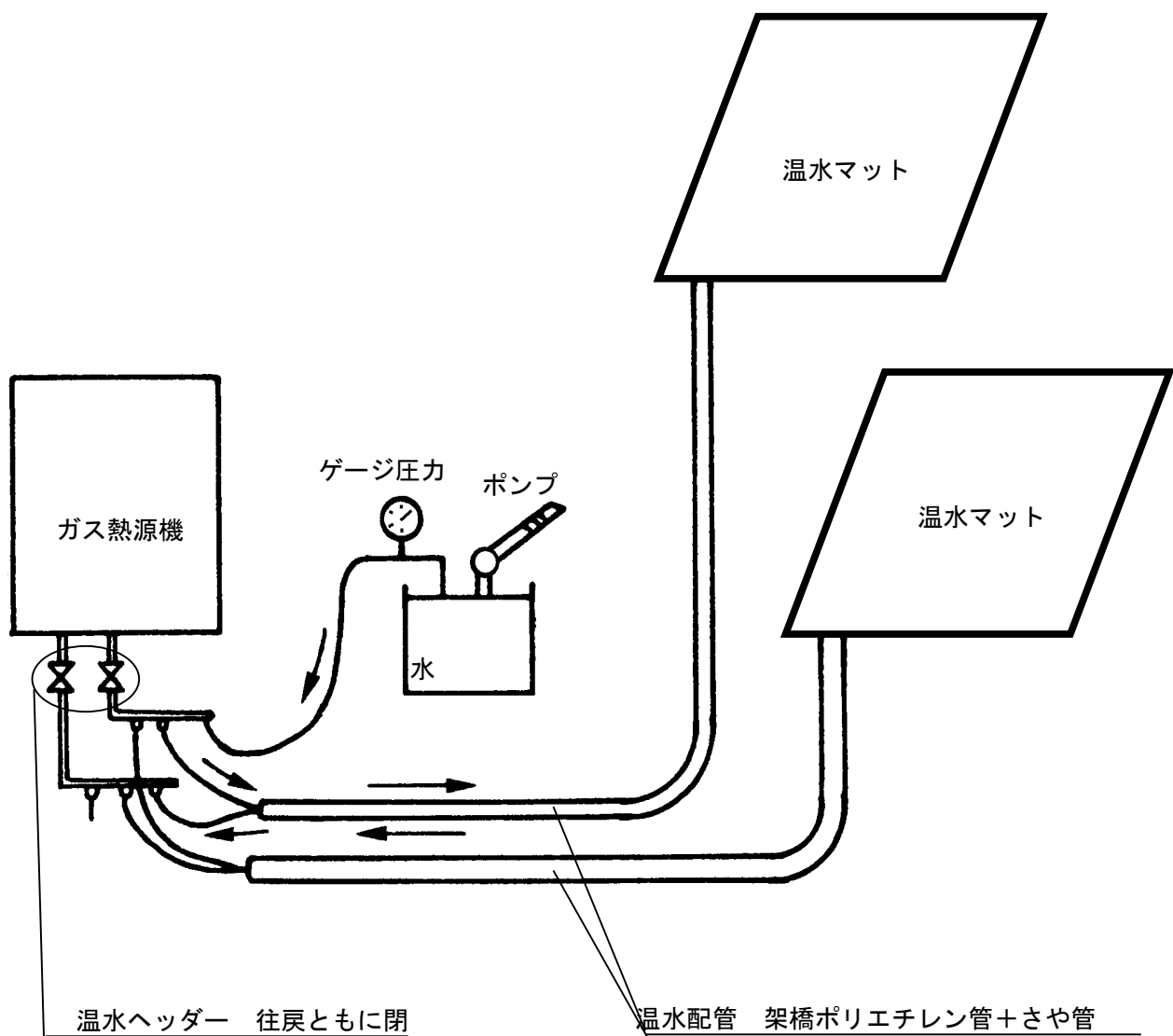


図-1 温水式床暖房のゲージ検査例



写真-1 温水式床暖房マット敷設状況



写真-2 圧力検査実施状況